

# おれんじニュース

No378

2021年11月

## CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
吾妻岳周回	5
郡岳	6
殿隠山、遠見山	7
北アルプス大縦走	8
おれんじカレンダー	10

紅葉と天狗池の逆さ槍

2021年	11月	12月	時間	場所
専門部会	9(火)	14(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	24(水)	22(水)	19:00~21:00	

# 11月



# 月例山行案内

部	山行部	ひまわり部	自然保護部	技術研修部
月/日(曜)	11/7(日)	11/12(金)	11/14(日)	11/21(日)
山名(行事)	妙見・国見・普賢	矢岳	帆場岳グリーンハイク	黒岩山・泉水山(九重)
地 図	雲仙・島原	雲仙・島原	長崎東北部・東南部	湯 坪
集合場所	西諫早駅 8:00	諫早駅西口 9:20 西諫早駅 9:00	西諫早駅 8:00	諫早駅西口 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 2/技術 2	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	17:00	15:30	16:00	19:00
歩行時間	6.0h	4.0h	6.0h	3.5h
交通手段	マイカー	マイカー	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	1,000	800	700	5,000
申込期限	10/31	11/7	11/7	11/14
集 約	田 村	田 中	中 野	山下ちづこ
備 考	10月から11月初旬の紅葉は見応えがあります。	雲仙の紅葉を楽しみます。	現川駅から健脚・ゆっくり班に分かれ帆場岳を目指すグリーンハイク	九重の牧ノ戸から黒岩山, 泉水山へ, 長者原へ下ります。

# 12月

\*11月はコロナ禍の状況により、中止や変更の可能性あり

部	山行部	自然保護部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	12/5(日)	12/12(日)	12/19(日)	12/24(金)
山名(行事)	岩屋山	矢岳・高岩山	求菩提山(くぼてさん)	鎌倉山・多良見普賢岳
地 図	長崎西北部	雲 仙	伊良原・下河内	大 村
集合場所	西諫早駅 8:00	西諫早駅 8:00	西諫早駅 6:20	諫早駅西口 8:50 西諫早駅 9:00
難 易 度	体力 1.5/技術 1.5	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	16:00	15:00	19:00	14:00
歩行時間	3~5.0h	4.5h	3.5h	3.5h
交通手段	マイカー	マイカー	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	1,500	700	5000	800
申込期限	11/29	12/05	12/12	12/20
集 約	田 村	中 野	山下ちづこ	田 中
備 考	樫原霊園からと岩屋神社から(エスプ)の2ルート。	コロナ禍、意外と登ってなかった高岩山です。	豊前修験道を偲ぶ多くの遺構が残っています。	ゆっくりと時間をかけて歩きます。

## 事務局より

### ◇ コロナ対策

11月より 新型コロナ渦中の行事対応指針は、  
下表に基づきレベル指定を行います。  
オレンジのレベルは「メディアの報道、県の方  
針、県連方針」から総合的に判断します。

\*自主登山は個人の判断による。(計画書を事務局  
に提出、九州以外は県連にも提出)

レベル		1	2
オレンジ	御館山トレ (毎日)	○	○
	火曜岩ハイク (週1)	○	県内
	水曜登山 (週1)	○	県内
	ボルダリング (週1)	○	○
	四部の定例山行(月1)	○	県内、延期 OR 自主に変更
	コパニオナルスター (月1)	○	○
	自主山行など(不定期)	各人の判断	各人の判断
	運営委員会 (不定期)	○	○
	専門部会 (月1)	○	○
	全体集會 (月1)	○	○
編集委員会 (月2)	○	○	
基本的感染予防	○	○	
公共交通機関	△	△	
マイクロバス	13名以下	13名以下	



オレンジのコロナ渦中の行事(項目)対応指針 2021/09/29

長崎県がレベルで対策を表示するのと同様に、オレンジもレベル表示で行事(項目)毎の対策を指示します  
本レベル表は「おれんじニュース10月号」に添付又はメールで送付します。(以上9/17 Web会議で決定)  
事務局長は以下の手順で適宜判断メールや電話でレベルを指示しますので、各位対応で確認ください。  
「メディアの掲載」→「県の方針」→「県連方針」→「事務局長は「オレンジのレベルNo」を会員に連絡。

レベル	1	2	3	4	5
感染者の発生	散発的発生	漸増	増加・拡大	特定地域や業種に急増	県下全域急増
警報		注意報	警戒警報	特別警戒警報	緊急事態宣言
対策	1.基本的感染予防 非3密、手洗、マスク	1.基本的感染予防 2.感染拡大遅延や地域への自粛要請 3.緊急状況に応じた包括的交換実施	1.基本的感染予防 2.ガイドライン非遵守の施設等への事業自粛要請 3.イベントや観光施設への入場制限実施	1.基本的感染予防 2.特定区域閉鎖 (1) 営業時間短縮要請 (2) 休業要請 (3) イベント等の自粛要請 (4) 不要不急の外出自粛要請 (5) 運営施設等の閉鎖	1.基本的感染予防 2.県全域
レベル	1	2	3	4	5
御館山トレ (毎日)	○	○	○	○	○
火曜岩ハイク (週1)	○	県内	○	○	○
水曜登山 (週1)	○	県内	○	○	○
ボルダリング (週1)	○	○	○	○	○
四部の定例山行(月1)	○	県内、延期 OR 自主に変更	○	○	○
コパニオナルスター (月1)	○	○	○	○	○
自主山行など(不定期)	各人の判断	各人の判断	各人の判断	各人の判断	各人の判断
運営委員会 (不定期)	○	○	○	○	○
専門部会 (月1)	○	○	○	○	○
編集委員会 (月2)	○	○	○	○	○
基本的感染予防	○	○	○	○	○
公共交通機関	△	△	△	△	△
マイクロバス	13名以下	13名以下	13名以下	13名以下	13名以下

- ◆ 登山標識を取り替えました。  
火曜登山を兼ねて鳥甲岳の古くなった標識を取り替えました。  
今後も順次山の標識を改良します。



- ・被爆遺構巡り・平和登山  
オレンジの参加者は4名でした。  
平和登山は金比羅山～天狗山へ。  
被爆遺構巡りは永井博士墓地、防空壕跡、  
山王神社等を巡った。



立山防空壕址

## 県連より

- ・本年度の登山フェスタ及び登山学校雪山訓練は中止とする。
- ・黒木梅園整備計画を検討中、来年度収穫をめざす。
- ・2022年度の労山カレンダーの申し込みについて。  
価格：労山会員¥1,000、一般¥1,430(申込み事務局まで)。



# 定期トレーニング

## コンパニオンレスキュー

実施日	9月25日	セルフビレー	ルペルソで確保	ロープワーク	懸垂下降
場所	いこいの村				
参加数	10名				

## 火曜岩ハイキング

月日	9/21・遠目越、郡岳	9/28・鳥甲岳	10/5・鳥甲岳～二合半山	10/12・大花山・白木峰
参加	8名	9名	11名	12名
行程	9:00 西駅—10:00 北川内～11:40 遠目越～11:50 郡岳東峰～13:25 遠目越～15:00 北川内	9:00 西駅—10:00 登山口P～10:50 摩利支天宮～11:20 鳥甲岳～12:50 林道出合～13:30 登山口	10:55 登山口～11:40 鳥甲岳～12:10 鳥甲岳・二合半山分岐～13:45 二合半山～14:10 林道出合～14:50 登山口	9:00 西駅—10:10 横峯越登山口P～11:00 横峯越～12:05 大花山～14:50 白木峰
感想	北川内から遠目越への登山道は前年の大雨のせいで荒れており、なおかつ急登でガレ場が多くて厳しかった。	無風状態で蒸し暑かった。鳥甲岳の標識が壊れていたため、次回取換える事にした。下りは藪漕ぎだった。	鳥甲岳の標識を代えて二合半山まで足を延ばしたのがかなりハードな山行となった	横峯越を経由しての大花山は歩きやすい縦走路だが、距離は長かった。白木峰はコスモスがほぼ満開で素晴らしかった。
備考	遠目越へのガレ場 	林道出合 	鳥甲岳 	白木峰 

## 水曜登山

月日	9/22板川内・狸だまり	9/29虚空蔵山	10/13五家原岳～中岳
参加	7名	9名	9名
行程	8:00 西駅—9:00 岩屋口～11:45 狸だまり～12:35 岩屋越～14:30 岩屋口	8:00 西駅—9:40 木場登山口～11:10 寺屋敷跡～11:50 虚空蔵山～13:10 岩屋口	9:20 黒木P～10:20 林道～11:40 分岐～12:15 五ヶ原岳～13:20 中岳～14:40 西の越～16:00 八丁谷～黒木P
感想	板川内からの登山道も雨後であれており、厳しい山行だった。	岩屋口に車を置き、車道を歩き木場登山口から登った。素晴らしい天気で快適な一日だった。幼稚園児も10人ほど登ってきていた。	黒木から小河内、横峰越ショートカットルートから五家原岳、中岳、西野越から八丁谷、黒木Pをゆっくりと花を探した。レイジンソウ、ジンジソウ等あり。
備考	登山道脇の大岩・岩屋越  	木場からの登り・ツリニンジン  	小河内渡渉・レイジンソウ  

# 2021. 9. 19 (日) 吾妻岳周回

行程: 西諫早駅8:00—田代原9:20—出発9:30—頂上分岐10:20—展望岩10:50—岩巡り11:20—頂上三角点12:00(昼食)12:40—東尾根—下りる13:30—田代原14:39—諫早へ



やまぼうしの実



## 登山概要

吾妻岳の頂上北西部には面白い岩場があることを知った。今回、それらの岩場を巡り、その後、頂上南東部の尾根を下り車道に下りた。尾根ルートは秋の花も散見され、車道までは目印のテープどおりに下りた。岩場や急な下りがあったがメンバーの協力のおかげで、怪我ひとつなく吾妻岳周回コースを歩き終える事ができた。

## 参加者

川原 乾 陣川 大原 浦 中村 今坂 福岡 松岡  
渡辺 高森 山下ち 山下文

## ちょっと感想：

- \* 絶好の登山日和で、トリカブトの紫色、落ちたヤマボウシの赤い実のカーペット等も楽しめた。
- \* 吾妻岳、トレイルセンターから登ったのは初めてでした。展望岩をのそのそ登り、くぐり岩もくぐり、楽しみました。
- \* このコースは二度目だったのでくぐり岩をパスしてTさん、Mさんと林の中でほかのメンバーを待ちながら静寂を楽しんだ。



# 9/24(金) 郡 岳



参加者

福岡 高田 林 田中 田村 乾 中須賀

行程

西諫早駅 9:15～南登山口 10:10～坊岩分岐 11:45

～郡岳山頂 12:10～(昼食 40分)～南登山口 15:00～西諫早駅 15:50



## 一口感想

- \*久しぶり県連フェスタ後 3 年来の郡岳、馬齢を加え腰の曲がりも深くなり登路の視線は下方に向かいがちのゆっくり登山。転落石防止の新しい杭や古杭のキノコが目につき、いつも多いイノシシの堀跡は少なかった。頂上は秋晴れ気配、向かいの演習場は緑深く、左側の岩田さんの蕪池は青く光っていた、7人の少人数でゆっくり気分でした。
- \*緩やかに続く登山道をゆっくり登りました。整備されていて歩きやすい登山道でした。必死で、全力で登る登山も面白いですが、ゆっくり周りを眺めて楽しく登る登山いいなあと思いました。

## 登山概要

野岳湖管理事務所の前を過ぎてしばらく行くと、右手に湖を周回する道がある、半周ほどすると、左に南登山口まで 1,5km の標識がありこれを進む。登山口には 6~7 台ほどの駐車場とトイレがある。標示に沿って林の中を真っ直ぐ進むと 20 分ほどで林道の終点に出る、郡岳の標示有りここから山道になる、雑木林の緩やかでジグザグの道を登る、坊岩分岐から少し道が急になる。頂上は暑いと思ったが以外と涼しかった、秋を感じました。山頂は平坦で、大村湾、大野原演習場や遠くに虚空蔵山や佐世保方面の山々を見渡せる。帰りは来た道に戻り南登山口。



郡岳の頂上

# 9/26(日) 殿隠山、遠見山



脇岬ふれあい公園から見た遠見山をバックにして

## 参加者

今坂 鎗水 松岡 山下ち 渡辺 高森 中野 田村 田中  
西 福岡 乾 中岡 浦 大原 一般(前田 中村)



高浜ダム

**行程**：西諫早駅 8:10～長崎 IC 8:30  
～高浜ダム 9:20～脇岬広場 P へ車移動 9:50  
～登山口出発 9:55～殿隠山 10:50  
～遠見山 11:50/12:15～金刀比羅神社 13:15  
～脇岬広場駐車場 13:20～観音寺 13:25/13:55  
～現地解散 14:10



倒木、急勾配なんのその、よいしょよいしょ

**登山概要** 登山口から石段を 10 分ほどのぼると尾根道にでる。最初は緩やかな山道も徐々に勾配がます。目印のテープにそって雑木、倒木の多い山道を 1 時間ほど登ると殿隠山に到着。狭い頂上は荒廃し眺望もきかない。相変わらず倒木と生い茂る木立をを歩き遠見山に 1 時間ほどで到着。伐採した木立の間から脇岬海岸が見えた。下山は急坂を注意しながら慎重に下る。下山後観音寺を見学。

## ちょっと感想

- \*アップダウンも多かったが、コースタイムをたっぷりとってあり楽しめた。帰りアブくん刺されて気合をいれられた。
- \*初秋とは思えぬ暑さの中、2つの山の頂上からは眺望が叶わなかったが老々男女のにぎやかな声に元気をもらった。
- \*天井絵の有名な観音寺を訪ねてよかった。
- \*コースは荒れわかりにくいにもかかわらず、スムーズにガイドされたのはよほど下見をされた后感心した。



観音寺本堂内部。正面カーテン内部には国指定重要文化財、木造千手観音立像が鎮座されている。また天井絵は県指定有形文化財である。

7/28~8/07

# 北アルプス大縦走

(後編 劔岳~称名滝)

國分記



八月三日

朝一番の地下鉄で上市に移動し、タクシーにて馬場島へ。

ここが劔岳早月尾根ルートの出発点となる。広く明るい雰囲気、テントも張れそうな場所だった。登り始めは木の根が張りめぐる尾根道にとりつく。いきなりの急登だった。これは、もうマイペースで登るしかない。

本日は早月尾根ルート上にある早月小屋まで。行程的には短いが高度的にはかなり稼ぐ。登り一辺倒の樹林帯の道で、時折垣間見える景色は谷を挟んで隣の尾根の緑色の塊の壁が見えるだけで、さほどの変化もなく、ただ、自分の位置がちょっとは高度を稼げているのかな、と感じられる位だった。左右は深い谷だった。

予定では、あと小一時間位で丸山かな、の辺りからしよぼつく雨が降り始めた。雨具を着けるほどでもなく、ただひたすら登るのみだ。固定鎖がやたら設置されている岩場を登ったら丸山だった。目の先に早月小屋があった。

このコースは以前に、逆に劔岳から馬場島まで下った事があった、早月小屋にも宿泊したのだが、二十数年前に建て替えられたとの事。もう遠い記憶になっていた。

八月四日

早月小屋を出発して、しばらくは森林帯を進むが、あまりの虫の多さに虫よけスプレーをやたらと振った。やがて低木帯から裸岩帯となり、さすがに岩が厳しくなってきた。

小屋を早立ちした人達が山頂を踏んで下って来る。僅かのスペースで譲り合う。鎖場も多くなってきた。もうすでに岩の上しか歩いていない。そこにある山頂が遠い。

カニノタテバイの方面から登ってきた人達と合流して山頂へ。

下りはカニノヨコバイを鎖に梯子を使って下る。更に平蔵のホルまで下り、すぐに平蔵の頭へと登る。ホルドとスタンスはしっかりあるので、確認しながら動く。

前劔から一気に下り、一服劔へと登り眼下に劔山荘と宿泊予定の劔沢小屋をゆったりと眺めた。もう殆ど水が尽きていた。早月小屋での補給がギリギリだった。劔山荘の玄関前にある流しっぱなしの水の美味しかった事、たっぷり飲んだ。今日も天気がよくて良かった。







八月五日

朝食は窓越しに劔岳を正面に眺められる特等席だった。今日は快晴だ。別山乗越に登り上り、室堂乗越経由で大日小屋を目指す。奥大日岳から大日岳へのコースは以前から歩きたかったコースで、期待が高まる。

昨日の劔岳の登り下りの岩だらけの道と一変して、おだやかで緑豊かな山肌の道を進む。見た目ゆるやかな登りに見えるが、中々侮れないコースだった。億大日岳からの展望はバツグンで稜線より右側は劔岳の峰々に、左側は立山から浄土山等々に囲まれた室堂と称名廊下を挟んで弥陀ヶ原が広がる。奥には薬師岳が控えている。

大パノラマを堪能するには、このコースが一番いいと思う。

通過点としか思えない様なちよつとした岩場の中大日岳山頂を過ぎて、ほどなく大日小屋着。ガスも薄くかかり始めている。大日岳は小屋より先に進んだところにある。

しばらくして遠雷も遠のき、ガスも晴れて、空身で登った。

小屋の前庭から広い谷を挟んで、劔岳へ続く早月尾根の稜線が見えた。

八月六日

いよいよ最終日大日小屋から、称名滝を目指す

下山後の移動等を考慮して、日の出を待たずに早立ちとなった。

下り始めて、傾斜が多少きつい。小さな沢を幾度も渡りながら下る。大日平になって広々とした中の木道を清々しい穏やかな心持ちで歩む。牛首辺りから道幅が狭くなり、急激に下る。だんだんと登山者が増えてきた。

このコースは人気らしい。離合するのにスペースがない。下山道のジグザグが小刻みから大刻みになってきたら、登山口に着いた。まだ続くと思っていた下りが、いきなり終わった。称名川が目の前に流れていた。思っていたより水量が少ない。目を転ずると、滝は見えないが飛沫が薄いヴェールのように見える。

あと少し、滝の傍まで歩かねば。

立山や室堂に降った雨水を集めて一気に落ちてくる滝。やはり圧巻だった。

残念ながら逆行で写真に収めるのは難しかった。称名の橋で滝に背を向けて立つと、降りかかる飛沫で虹が架かって見えた。ゴールに着いた！





# おれんじカレンダー

11月			12月		
1	月		1	水	水曜登山
2	火	火曜岩ハイキング	2	木	
3	水	水曜登山	3	金	
4	木	11月はコロナ禍の状況により、変更の可能性あり	4	土	ボルダリング
5	金		5	日	岩屋山(山行部)
6	土	ボルダリング	6	月	
7	日	妙見、国見、普賢(山行部)	7	火	火曜岩ハイキング
8	月		8	水	水曜登山
9	火	火曜岩ハイキング (専門部会)	9	木	
10	水	水曜登山	10	金	
11	木		11	土	ボルダリング
12	金	矢岳(ひまわり)	12	日	矢岳・高岩山(自然保護部)
13	土	ボルダリング	13	月	
14	日	帆場岳クリーンハイク(自然保護部)	14	火	火曜岩ハイキング (専門部会)
15	月		15	水	水曜登山
16	火	火曜岩ハイキング	16	木	
17	水	水曜登山	17	金	
18	木		18	土	ボルダリング
19	金		19	日	求菩提山(技研部)
20	土	ボルダリング	20	月	
21	日	黒岩山・泉水山(技研部)	21	火	火曜岩ハイキング
22	月		22	水	水曜登山 (全体集会)
23	火	火曜岩ハイキング	23	木	
24	水	水曜登山 (全体集会)	24	金	鎌倉山・多良見普賢岳(ひまわり)
25	木		25	土	コンパニオンレスキュー
26	金		26	日	
27	土	コンパニオンレスキュー	27	月	
28	日		28	火	
29	月		29	水	
30	火	火曜岩ハイキング	30	木	
			31	金	

川原顧問所掌 ➡ 火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合  
 ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、工藤学、中里利行、林孝子 中野美津子、田中静香、高田啓子、山下文代
発行年月日	2021/10/27
郵便振込口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>